

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月2日	記入者		連絡先	2562
平成18年度部名	市民部	課名	交通・地域安全課	課長名	江成政興
平成19年度部名	防災安全部	課名	交通・地域安全課	課長名	大貫雅巳
事務事業名	安全・安心情報システム運営費				
予算上の事務事業名	安全・安心まちづくり啓発推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23220		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				
施策名	第2施策 犯罪のないまちづくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要					
計画名	概要				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		5 事業開始年度	平成17年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市民一人ひとりの防犯に対する関心を高め、「犯罪のない安全・安心まちづくり」を推進するため、インターネットを活用した「安全・安心情報システム」により犯罪発生状況や防犯情報の提供などを行う。				市民	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1 安全・安心メール登録者数 9,147人(H18.3.20～H19.3.14)					
2 安全・安心メール送付回数 83回(H18.4～H19.2.28現在) 内訳 不審者情報 60件 犯罪情報 23件					
3 安全・安心マップへのアクセス件数 247,588件(H18.3.20～H19.2.28)					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	12,274	1,620	2,957	2,957
一般財源	0	12,274	1,620	2,957	2,957
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	16,100	2,415	2,415	2,415
事業コスト合計	0	28,374	4,035	5,372	5,372
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	安全・安心情報システム運営費			対象名称 と単位	安全・安心メール登録 者当たり費用
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	27,578	3,927	5,253	4,053
対象数	0	0	9,147	15,000	15,000
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	429	350	270
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.82	0.77

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	安全・安心メール登録者数 (人)	指標式と 指標の説明	登録者数 目標 当面は人口の約2%の登録を目標として設定		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	9,147.0		
目標	0.0	0.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	61.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	人口千人あたり犯罪発生件数 (%)	指標式と 指標の説明	△該年犯罪発生件数÷人口×1,000 犯罪件数増加前のH7件数(15.4)をH21達成目標として設定		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	25.3	19.2	16.7		
目標	24.4	22.3	20.3	18.5	16.9
目標達成度(%)	96.4	116.1	121.6		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域の犯罪情報等についての市民ニーズも高く、また、このシステムにより提供している各種情報は、地域防犯活動を行う際に非常に有意義なものであり、地域の安全・安心まちづくりの推進に非常に効果がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
メール登録を促進するためのPR活動を積極的に行うとともに、地域安全・安心マップ機能の強化を図り、地域での活用について一層の促進を図る。			安全・安心メール登録者数が約9,200人と、当面の目標としている人口の約2%に対し、約6割の達成率にとどまっている。今後は、この登録者数の増加を図る必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		登録者数の増加をめざし、一層の事業推進を図ること。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			